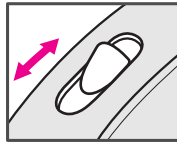


ご使用前に必ずお読みください

手元カップの操作方法

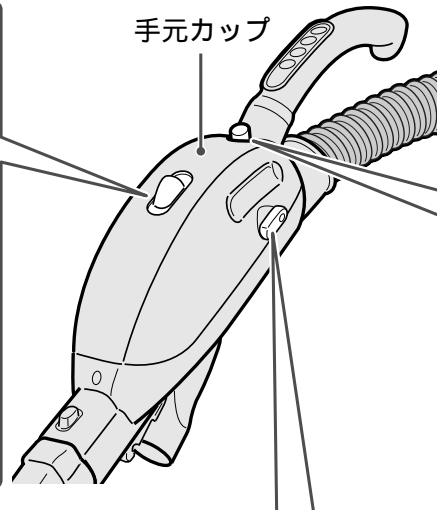
ゴミプレスレバー



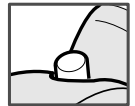
お掃除の前にゴミプレスレバーを前後に動かすと、ネットフィルターに付着したゴミをかき落とし、手元カップの中のゴミが圧縮され、目づまりが改善されます。

お手入れサインの赤が点灯したら運転を止め、ゴミプレスレバーを数回前後に動かしてください。

手元カップ



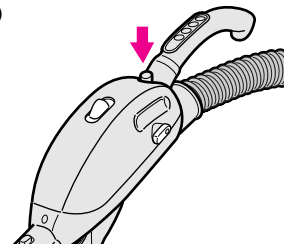
手元カップ 取りはずしボタン



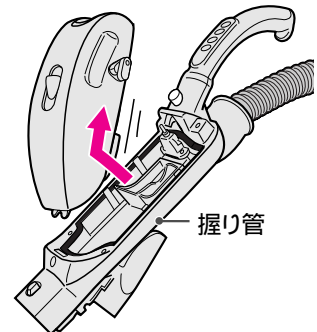
手元カップ内にたまったゴミを捨てる
ときに使用します。

はずしかた

手元カップ取りはずしボタン(押)を押す(手元カップが少し浮きあがります)



握り管から手元カップを取りはずす



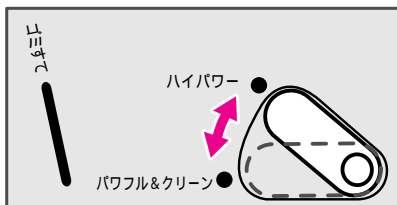
お願い

本体運転中はゴミプレスレバー、切換レバーを動かさないでください。故障の原因になります。

切換レバー

シーンに合わせてお掃除モードを切り換えます。

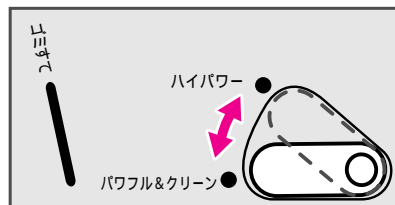
「ハイパワー」モード



ハイパワーでしっかり
お掃除したいとき

パックフィルター(紙パック)
にゴミがたまります。

「パワフル&クリーン」モード



パワフル&キレイな排気で
お掃除したいとき

手元カップにゴミがたまります。
小さいゴミ、ゴミすてラインをこ
えて吸ったゴミはパックフィルタ
ー(紙パック)に入ります。

高性能トリプルパックフィルター (VPF-7)

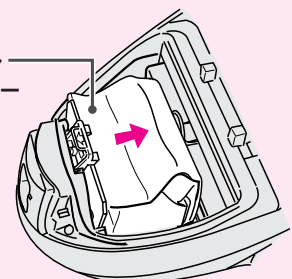
このクリーナーでは性能を維持するため、高性能トリプルパックフィルター (VPF-7) をご使用になることをおすすめします。

シール弁付東芝製[純正]トリプル紙パック (VPF-5) またはダブル紙パック (VPF-6) もご使用になれますが、ゴミの種類によっては、紙パックの交換時期が早くなります。

高性能トリプルパックフィルターのセットについて

高性能トリプルパックフィルターをセットした後、本体内部全体に広げてからふたを閉めてください。

高性能トリプル パックフィルター

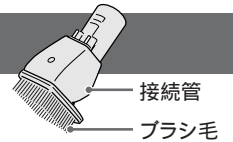


詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

(裏面もご覧ください)

ご使用前に必ずお読みください

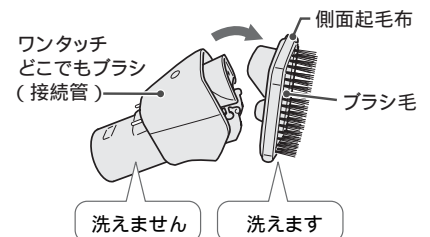
ワンタッチどこでもブラシの使いかた



お手入れ

ブラシ毛部ははずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部を前方へ軽くひねりながらはずす



2 水洗いをし、十分に乾燥させる

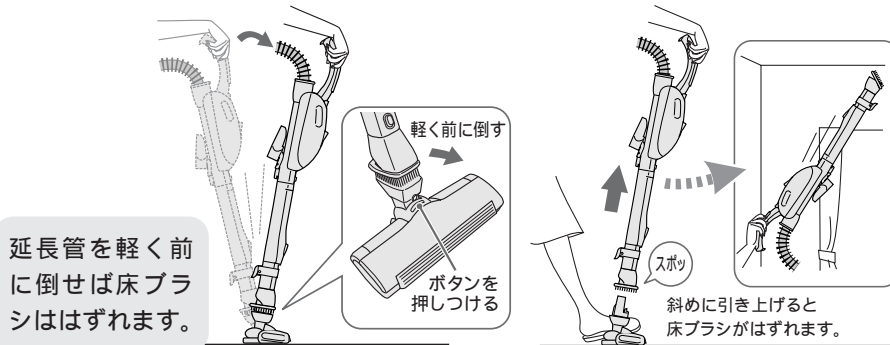


お願い

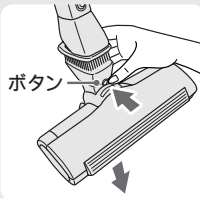
接続管は、水洗いしないでください。
側面起毛布は無理に引っばらないでください。

●切を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえて、延長管を前に倒す

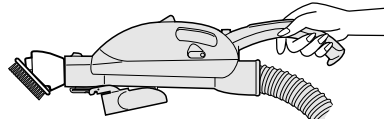
そのままグリップを上引き上げて床ブラシをはずす
手元スイッチを押して使う



床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。



ワンタッチどこでもブラシは、握り管の先端に差し込んでも使えます。



お願い

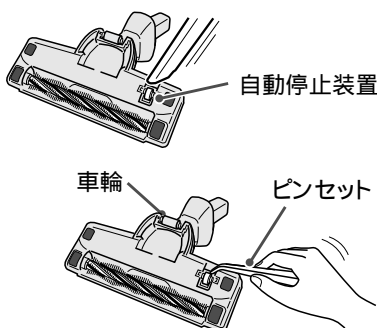
運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
ワンタッチどこでもブラシ（接続管）は水洗いできません。

床ブラシのお手入れ

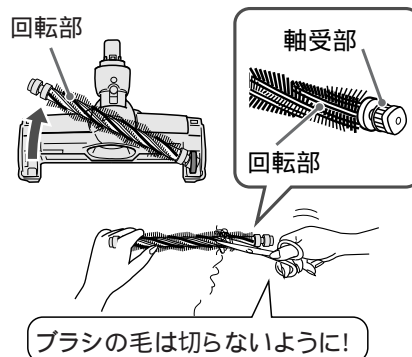
週1～2度、お掃除の最後にお手入れしてください。
回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

回転部のお手入れ

自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミを吸い取り、ピンセットで取りのぞく



回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り取りのぞく

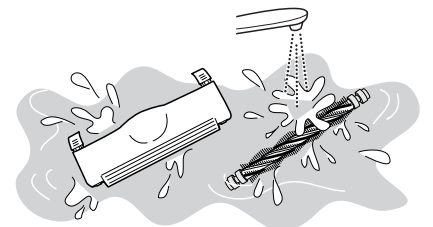


お願い

ゴミがたまったらそのままお使いになると車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。
回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。

水洗い

回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる



詳しくは、取扱説明書をご覧ください。